

第28回 京都フランス音楽アカデミー

# アンサンブル・ スペシャル・コンサート2018

## ENSEMBLE DE L'ACADÉMIE DE MUSIQUE FRANÇAISE



日仏交流160周年  
160<sup>e</sup> Anniversaire  
des relations  
franco-japonaises

<b>演奏者</b> MUSICIENS		
 マリー=テレーズ・ケレル Marie-Thérèse Koller	 ブルーノ・リグット Bruno Rigutto	
 エマニュエル・シュトロッセ Emmanuel Strosser	 オリヴィエ・シャルリエ Olivier Charlier	 ステファニー=マリー・ドゥガン Stéphanie-Marie Degand
 レジス・パスキエ Régis Pasquier	 ブルーノ・パスキエ Bruno Pasquier	 ディアナ・リゲティ Diana Ligeti
 ジャン・フェランディス Jean Ferrandis	 フロラン・エオー Florent Héau	 エリック・スペレール Eric Speller
 イヴ・ショリス Yves Chauris	 酒井 健治 Kenji Sakai	

### プログラム

- 第1部**
- サン=サーンス: 夕暮れのヴァイオリン**  
マリー=テレーズ・ケレル(メゾソプラノ)  
オリヴィエ・シャルリエ(ヴァイオリン)  
エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)
  - ショ=ソン: アホドリ**  
マリー=テレーズ・ケレル(メゾソプラノ)  
ブルーノ・リグット(ピアノ)
  - ドビュッシー: ビリティスの歌**  
ジャン・フェランディス(フルート)  
エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)
  - ショリス: De l'une à l'autre**  
ステファニー=マリー・ドゥガン(ヴァイオリン)  
ディアナ・リゲティ(チェロ)
  - サン=サーンス:  
デンマークとロシアの歌による奇想曲 Op.79**  
ジャン・フェランディス(フルート)  
エリック・スペレール(オーボエ)  
フロラン・エオー(クラリネット)  
エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)
- 第2部**
- ラヴェル: ヴァイオリン・ソナタ「遺作」**  
オリヴィエ・シャルリエ(ヴァイオリン)  
エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)
  - 酒井健治: 青のリトルネッロ**  
ジャン・フェランディス(フルート)  
エリック・スペレール(オーボエ)  
フロラン・エオー(クラリネット)
  - フランク: ピアノ五重奏曲へ短調**  
ブルーノ・リグット(ピアノ)  
レジス・パスキエ(ヴァイオリン)  
ステファニー=マリー・ドゥガン(ヴァイオリン)  
ブルーノ・パスキエ(ヴィオラ)  
ディアナ・リゲティ(チェロ)



\*都合により曲目変更・出演者の変更を余儀なくされる場合があります。あらかじめご了承ください。  
\*未就学児童の入場はご遠慮ください。

**日時** 2018年3月30日(金) 19時開演(18時30分開場)

**料金** 【全自由席・税込み】一般: ¥4,000、学生/クラブ・フランス会員: ¥3,000

**お問い合わせ** 京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局 TEL: 075-761-2114 (火~土 10:00~18:00、日・月・祝休)  
E-mail: academie@institutfrancais.jp | academie.institutfrancais.jp

**会場** 京都府立府民ホール「アルティ」  
地下鉄烏丸線「今出川駅」下車、6番出口を出て右手(南へ)徒歩5分

【協力】エラート音楽事務所 075-751-0617  
【前売り】アンスティチュ・フランセ関西-京都 075-761-2105、大阪 06-6358-7391 / 京都府立府民ホール アルティ 075-441-1414  
※「クラブ・フランス会員」チケットは、アンスティチュ・フランセ関西のみにて販売します。

【主催】京都フランス音楽アカデミー実行委員会 【後援】京都市、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本 【助成】公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 【協賛】稲畑産業株式会社、バウエル・フルート・ジャパン、株式会社 ビュッフェ・クランボン・ジャパン、アジオー・シトロエン・ジャパン株式会社、SACEM(フランス著作権協会) 【協力】京都女子大学、ANAクラウンプラザホテル京都、ヴィラ九条山 【教育提携】パリ・エコール・ノルマル音楽院



# 第28回 京都フランス音楽アカデミー アンサンブル・スペシャル・コンサート2018

日仏音楽交流事業「京都フランス音楽アカデミー」のために来日した教授陣によるスペシャル・コンサート。  
ソリストとしても世界中で活躍する教授陣によるアンサンブルは、フランス本国でもなかなか聴くことのできない贅沢な編成です。

## マリー＝テレーズ・ケレル

Marie-Thérèse Keller

ストラスブール地方音楽院卒。H. ホッターとD. デュプレクスに師事し、パリ・オペラ座などでの公演に出演。ラヴェル「スペインの時」コンセプションや、「カルメン」タイトルロール、「ヴェルテル」シャルロット、ナタリー・デセイと共演した「ランメルモールのルチア」アリーサなどで高い評価を得る。多数のリサイタルを行う他、ヴェルディ「レクイエム」などのオラトリオやマーラー「大地の歌」にも出演。パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

## ブルーノ・リグット

Bruno Rigutto

パリ国立高等音楽院でピアノをL. デカーヴに、室内楽をJ. ユポーに師事し、ロン＝ティボー国際コンクールとチャイコフスキー国際コンクールで入賞。若くして国際的に認められ、C.M. ジュリーニら著名な指揮者に招聘される。室内楽ではI. スターンやM. ロストロポーヴィチらと共演。07年、レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受章。パリ国立高等音楽院で20年以上教鞭をとった後、現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

## エマニュエル・シュトロッセ

Emmanuel Strosser

各国でリサイタルやオーケストラとの共演を行う他、C. デゼールとのピアノデュオや、O. シャルリエらと結成したトリオ・オウオンのメンバーとしても活躍。ストラスブール出身。パリ国立高等音楽院でJ.-C. ベヌティエとC. イヴァルディに師事した後、L. フライシャーらの下でも研鑽を積む。フィレンツェ国際室内楽コンクール入賞、91年クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールファイナリスト。パリ国立高等音楽院教授。

## オリヴィエ・シャルリエ

Olivier Charlier

10歳でパリ国立高等音楽院に入学し、若くしてミュンヘン、モントリオール、シベリウス、ロン＝ティボー等の国際コンクールで受賞を重ねる。レパートリーは協奏曲の名曲から知られざる作曲家の作品まで多数。ラ・ロック・ダンテロン、ブラード・カザルス、ラ・フォル・ジュルネ等、多くの音楽祭にも定期的に参加。P. ドゥカンら自身の師たちに続き、パリ国立高等音楽院で教鞭をとる。使用楽器は1747年製カルロ・ベルゴンツィ。

## ステファニー＝マリー・ドゥガン

Stéphanie-Marie Degand

95年ADAMI大賞、97年フェラスールバルビゼ・コンクール第2位、02年SACEM賞、05年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック器楽ソリスト賞受賞。バロックとモダン両方のヴァイオリンのテクニックをマスターしている演奏家の1人として、ロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団、ルクセンブルク室内オーケストラ等と共演。01年、E. アイムと古楽アンサンブル「ル・コンセル・ダストレ」を結成、07年より副指揮者。パリ国立高等音楽院教授。

## レジス・パスキエ

Régis Pasquier

12歳にしてパリ国立高等音楽院でヴァイオリンと室内楽の1等賞受賞。14歳で渡米し、I. スターン、D. オイストラフらと出会う。Z. フランチェスカッティとはバッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を録音。ソリストとして各国のオーケストラでL. マーゼラら名指揮者と共演し、不動の評価を得る。85年～11年パリ国立高等音楽院教授。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。使用楽器は1734年製グアルネリ・デル・ジュスの「クレモナ」。

## ブルーノ・パスキエ

Bruno Pasquier

43年生まれ。61年にパリ国立高等音楽院で1等賞を獲得。65年ミュンヘンのARD国際音楽コンクール弦楽四重奏部門優勝。65年～85年パリ・オペラ座管弦楽団首席ヴィオラ奏者、85年～90年フランス国立管弦楽団首席ヴィオラ奏者。76年ディスク大賞、77年フランス・ディスク・アカデミー大賞受賞。72年～パリ国立高等音楽院教授。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ受章、芸術文化勲章オフィシエ受章。パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

## ディアナ・リゲティ

Diana Ligeti

ルーマニア出身。パリ国立高等音楽院とスイスの国際メニューイン音楽アカデミーで学ぶ。パリ第4大学で音楽学の修士号を取得。ミュンヘンのARD国際音楽コンクールファイナリスト、ドゥエ国際チェロコンクール優勝、大阪国際室内楽コンクール第1位。ソリスト及び室内楽奏者として活動し、アンサンブル「ミュージック・オブブリク」等に参加。現在、パリ国立高等音楽院、リュエイク＝マルメゾン地方音楽院、フォンテーヌブロー・アメリカ音楽院教授。

## ジャン・フェランドイス

Jean Ferrandis

モーツァルトのフルート協奏曲K314を演奏した際、L. パーンスタインに「彼はまさにパン(牧神)である!」と言わしめるほど称賛を得たフルーティスト。リヨン国立高等音楽院のM. ラリューのクラスで1等賞を得て卒業後、ブラハの春国際音楽コンクールでグランプリ受賞。各国でのリサイタルやレコーディングに加え、指揮者としての活動や教育活動にも熱心で、現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院とカリフォルニア州立大学フラトン校で教鞭をとる。

## フローラン・エオー

Florent Héau

パリ国立高等音楽院でM. アリニョンの下で学び、数々のコンクールで第1位を獲得。室内楽に精力的に取り組み、R. カビュソン、G. コセ等と共演するほか、ソリストとしてもヨーロッパ・カメラータ、パリ室内管弦楽団等と共演。T. エスケシュら現代音楽の作品も初演している。リュエイク＝マルメゾン地方音楽院教授を経て、現在はパリ地方音楽院とローザンヌ高等音楽院で後進の指導を行う。各国のマスタークラスにも定期的に招聘されている。

## エリック・スペレール

Eric Speller

71年生まれ。リヨン国立高等音楽院卒。95年～97年モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団共同首席奏者。97年ロイヤル・フランダース・フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者に就任。96年ブラハの春国際コンクールファイナリスト、97年国際オーボエコンクール・東京第3位。ブリュッセル王立音楽院、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。バロック時代の楽曲から現代音楽までレパートリーは幅広い。ビュッフ・クランボン社のアンバサダー。

## 日仏交流160周年/京都・パリ友情盟約締結60周年記念

### 京都フランス音楽アカデミー委嘱作品 世界初演

日本とフランス、そして京都とパリにとってアニバーサリー・イヤーである2018年を祝して、日仏両国の気鋭の作曲家への委嘱新作を、京都フランス音楽アカデミーの招聘教授が初演します。

## イヴ・ショリス

Yves Chauris

80年生まれ。パリ国立高等音楽院卒。03年「...solitude, récif, étoile...」がJ.-F. ヌーブルジェにより初演される。以降、意欲的に作品を発表し続け、14年「Un minimum de monde visible」をアンサンブル・アンテルコンタンポランが初演。翌年、オーケストラのための「Why so quiet」を、16年にはフランス政府とカーネギー・ホールからの委嘱作品をそれぞれ作曲。08年～10年、カサ・デ・ヴェラスケス会員。11年、ウィラ九条山招聘アーティスト。

## 酒井健治

Kenji Sakai

京都市立芸術大学にて学んだ後渡仏。パリ国立高等音楽院作曲科を最優秀の成績で卒業後、Ircam(フランス国立音響音楽研究所)にて研究員を務め、マドリッドフランスアカデミー、またローマフランスアカデミーのフェロー(ローマ賞)に選ばれた。エリザベート王妃国際音楽コンクール作曲部門大賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)等を受賞し、作品は国内外で世界初演されている。現在名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンポーザー・イン・レジデンス。

## 第28回 京都フランス音楽アカデミー 公開レッスン

2018年3月24日(土)、25日(日)

京都フランス音楽アカデミーで開講するクラスは、全クラス非公開のため、各教授1回90分の公開レッスンを開催。

科目:ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルート、クラリネット、オーボエ、声楽  
会場:アンステイチュ・フランセ関西 稲畑ホール  
聴講料:¥2,000(1科目1教授につき)、¥7,000(1日通し券)

## 現代音楽特別公開講座

2018年3月27日(火)～29日(木) 15:00～17:00

作曲家イヴ・ショリスによるレクチャーを開催。(全3回、1回2時間)

共催/会場:京都芸術センター  
聴講料:¥2,000(1回につき)、¥5,000(全3回)

※ いずれも受講生は入場無料

お問い合わせ: 京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局 075-761-2114  
academie@institutfrancais.jp academie.institutfrancais.jp